

4 - 6

産業振興・交流に関する方針

本編第4章 105ページ～109ページ



方針 1

働く場所があり、活力あふれるまちをつくる

施策 1

新たな産業基盤の整備

担当課	都市計画課・企業誘致課
-----	-------------

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像	
4-6	産業振興・交流に関する方針	1	働く場所があり、活力あふれるまち をつくる	1	新たな産業基盤の整備	
関連する基本目標		産業振興により雇用の場が確保され、いきいきと働き暮らせるまち			P107—掲載	管理番号 No.47
施策の詳細内容			■情報・通信、エネルギー、リサイクルなどの新たな産業や研究開発機関などの進出に対応できる環境を整えるため、土地利用の見直しを検討する。			

★R7年度までの 取組目標				
年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3				
R4				
R5				
R6				
R7				

特記事項	令和元年11月完了（若小玉地区の区域区分の変更を実施し、土地利用の見直しを行った。）
------	--

R7年度までの 総括		評価	
---------------	--	----	--

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像
4-6	産業振興・交流に関する方針	1	働く場所があり、活力あふれるまちをつくる	1	新たな産業基盤の整備
関連する基本目標		産業振興により雇用の場が確保され、いきいきと働き暮らせるまち			
施策の詳細内容		■情報・通信、エネルギー、リサイクルなどの新たな産業や研究開発機関などの進出に対応できる環境を整えるため、土地利用の見直しを検討する。			

★R7年度までの 取組目標	産業系土地利用に向けた方向性の調整を行う(堤根地区、下忍地区)。
------------------	----------------------------------

年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3	庁内及び関係機関と産業系土地利用に向けた調整を行う(両地区)。	産業系土地利用に係る会議を2回実施した。	着手中	
R4	庁内及び関係機関と産業系土地利用に向けた調整を行う(両地区)。	庁内において産業系土地利用に係る調整を行った。	着手中	
R5	・庁内及び関係機関と産業系土地利用に向けた調整を行う(堤根地区)。 ・庁内調整に基づき、土地利用の見直し手続きを進める(下忍地区)。	土地利用構想(産業系土地利用検討ゾーン)の見直しについて、庁内において土地活用検討委員会を実施した。	着手中	
R6	・庁内及び関係機関と産業系土地利用に向けた調整を行う(堤根地区)。 ・庁内調整に基づき、土地利用の見直し手続きを進める(下忍地区)。	産業系土地利用検討ゾーンにおける土地利用の見直しに向けて庁内調整などの手続きを進め、都市計画マスタープランの土地利用構想図を見直すことで開発可能性候補地を大幅に拡大した。	着手中	
R7	・庁内及び関係機関と産業系土地利用に向けた調整を行う(堤根地区)。 ・庁内調整に基づき、土地利用の見直し手続きを進める(下忍地区)。			

特記事項	
------	--

R7年度までの 総括		評価	
---------------	--	----	--

方針 1

働く場所があり、活力あふれるまちをつくる

施策 2

地域産業の育成

担当課	商工観光課・文化財保護課
-----	--------------

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像
4-6	産業振興・交流に関する方針	1	働く場所があり、活力あふれるまちをつくる	2	地域産業の育成
関連する基本目標		地域産業が活発な活力のあるまち			
施策の詳細内容		<p>■本市特有の食文化、足袋など既存の資源や人材を活かした地域に根付いた新たな地域産業の発掘・育成に取り組む。</p> <p>■高次教育機関や事業者との連携により、忍城址や足袋蔵などの歴史資源の保全・活用や、ものづくりの伝統を活かした新たな資源の創出を検討する。</p>			

★R7年度までの 取組目標	足袋蔵等再活用を促進するために足袋蔵等を公開するイベントを実施し、新規活用件数及び新規公開件数（一時的な公開も含む）を各2件増加させる。
------------------	--

年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3	・再活用に向けて動き始めた足袋蔵等のサポートを行う。 ・イベント時の一時的・限定的な公開も含め、内部非公開の足袋蔵等の公開を促進する。	・再活用に向けて動き始めた足袋蔵等のサポートを1棟行った。 ・内部非公開の足袋蔵等のうち、1棟が店舗として再活用、1棟が限定的な公開を開始した。また、足袋蔵以外の歴史的建造物1棟が店舗として再活用を開始した。	着手中	
R4	・再活用に向けて動き始めた足袋蔵等のサポートを行う。 ・イベント時の一時的・限定的な公開も含め、内部非公開の足袋蔵等の公開を促進する。	・再活用に向けて動き始めた足袋蔵等はなかった。 ・内部非公開の足袋蔵の限定的な公開を行った。	着手中	
R5	・足袋蔵等の一斉公開イベントを開催する。 ・再活用に向けて動き始めた足袋蔵等のサポートを行う。 ・イベント時の一時的・限定的な公開も含め、内部非公開の足袋蔵等の公開を促進する。	・内部非公開の足袋蔵1棟が限定公開を開始、足袋蔵以外の歴史的建造物1棟が店舗として再活用を開始した。 ・電子スタンプを利用したデジタルスタンプラリーを実施し、足袋蔵30棟の外観公開を行った。 ・足袋蔵の内部公開のための動画を作成した。	着手中	
R6	・足袋蔵等の一斉公開イベントを開催する。 ・再活用に向けて動き始めた足袋蔵等のサポートを行う。 ・イベント時の一時的・限定的な公開も含め、内部非公開の足袋蔵等の公開を促進する。	・市指定文化財であり、構成文化財でもある旧忍町信用組合店舗(ヴェールカフェ)を、行田おもてなし観光局に公開業務を委託してリニューアルオープンした。 ・「足袋蔵めぐりスタンプラリー」を2回開催し、非公開の足袋蔵の限定公開を行うと共に、足袋蔵等の日本遺産構成文化財等でのイベントを開催した。	着手中	
R7	・足袋蔵等の一斉公開イベントを開催する。 ・再活用に向けて動き始めた足袋蔵等のサポートを行う。 ・イベント時の一時的・限定的な公開も含め、内部非公開の足袋蔵等の公開を促進する。			

特記事項	
------	--

R7年度までの 総括		評 価	
---------------	--	--------	--

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像		
4-6	産業振興・交流に関する方針	1	働く場所があり、活力あふれるまちをつくる		2	地域産業の育成	
関連する基本目標		地域産業が活発な活力のあるまち		P107—掲載		管理番号 No.48	
施策の詳細内容			<p>■本市特有の食文化、足袋など既存の資源や人材を活かした地域に根付いた新たな地域産業の発掘・育成に取り組む。</p> <p>■高次教育機関や事業者との連携により、忍城址や足袋蔵などの歴史資源の保全・活用や、ものづくりの伝統を活かした新たな資源の創出を検討する。</p>				

★R7年度までの 取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・行田商工会議所と連携を図りながら、空き蔵や歴史的建築物を賃借して起業する者を対象に家賃並びに出店にあたっての改修費用の一部を助成する。 ・(一社)行田おもてなし観光局と連携を図りながら、新たな地域産業として観光産業の充実を図る。
------------------	--

年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3	・市ホームページへの掲載やリーフレットの配布、商工会議所等と連携し、制度の周知を図る。 ・新たな観光資源の発掘や、既存の観光資源を磨き上げるとともに、(一社)行田おもてなし観光局と連携を図りながら、観光産業の充実を図る。	市ホームページの掲載やリーフレットの配布をするとともに、商工会議所と共に起業家支援事業制度の周知を図った。 令和3年4月より、月に1度のライトアップイベント「希望の光」を開催し、忍城や足袋蔵等の既存観光資源を活用した「行田花手水」による集客をより強固なものとした。	着手中	
R4	・新たな観光資源の発掘や、既存の観光資源を磨き上げるとともに、(一社)行田おもてなし観光局と連携を図りながら、観光産業の充実を図る。	(一社)行田おもてなし観光局との連携のもと、「行田花手水week」及び「希望の光」を継続して開催するとともに、新たに忍城をフィールドにしたリアル謎解きゲーム「忍城に眠る謎」及び水城公園をフィールドにした「行田スカイランタンまつり」を実施した。	着手中	
R5	・新たな観光資源の発掘や、既存の観光資源を磨き上げるとともに、(一社)行田おもてなし観光局と連携を図りながら、観光産業の充実を図る。	(一社)行田おもてなし観光局と連携を図り、日本遺産構成資産である旧忍町信用組合店舗を活用したヴェールカフェを令和5年3月にリニューアルオープンした。これにより、水城公園利用者等の観光消費を促進する拠点を構築することができた。	着手中	
R6	・新たな観光資源の発掘や、既存の観光資源を磨き上げるとともに、(一社)行田おもてなし観光局と連携を図りながら、観光産業の充実を図る。	(一社)行田おもてなし観光局と連携し、忍城の特性を活かし、戦国時代に雰囲気を感じられる「甲冑体験」、「忍者体験」の体験型コンテンツを造成した。	着手中	
R7	・新たな観光資源の発掘や、既存の観光資源を磨き上げるとともに、(一社)行田おもてなし観光局と連携を図りながら、観光産業の充実を図る。			

特記事項	
------	--

R7年度までの 総括		評価	
---------------	--	----	--

方針 2

地域資源の活用によるにぎわいが生まれる
まちをつくる

施策 1

地域資源の発掘と活用

担当課	商工観光課・文化財保護課
-----	--------------

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像
4-6	産業振興・交流に関する方針	2	地域資源の活用によるにぎわいが 生まれるまちをつくる	1	地域資源の発掘と活用
関連する基本目標		市民と来訪者の交流がにぎわいを生み、快適に過ごせるまち			
施策の詳細内容			<p>■観光産業の充実に向けて、体験型農業や新たな特産品・加工品の開発などの6次産業化に取り組む。</p> <p>■歴史・文化資源のPR強化を図るため、埼玉古墳群の世界遺産登録活動を推進する。</p>		

★R7年度までの 取組目標	本市観光コンテンツの開発・強化策の一環として、体験型コンテンツやグルメ・土産物の開発、また特産品の振興を図るための支援策を講じていく。
------------------	---

年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3	令和元年度から令和3年度までの3年間の事業として実施する「行田版DMOを核とした持続可能な地域形成プロジェクト」において、商工会議所と連携しながら、各種支援策を実施する。	土産品・グルメ開発支援事業を商工会議所と連携し、商品開発のためのセミナーを開催したことにより、7事業所の新商品開発が行われた。	着手中	
R4	行田おもてなし観光局と連携し、事業者に対するコンサルタントや商品開発の支援を行っていく。	新商品開発強化事業を行田おもてなし観光局と連携し、2事業者の新商品開発に繋がった。また、行田おもてなし観光局が地場産品である「行田在来青大豆」を活用した「行田のえだまめ餃子」を新たに開発した。	着手中	
R5	行田おもてなし観光局と連携し、事業者に対するコンサルタントや商品開発の支援を行っていく。	(一社) 行田おもてなし観光局との連携のもと、観光物産館さきまテラスの開業にあわせて、市内事業者の特産品である「わたばく」を活用した「わたばくソフトクリーム」を新たに開発し、販売を開始した。 また、(一社) 行田おもてなし観光局が運営する観光物産館の状況等を通じて、市内事業者への商品改良アドバイス等を継続して実施した。	着手中	
R6	行田おもてなし観光局と連携し、事業者に対するコンサルタントや商品開発の支援を行っていく。	(一社) 行田おもてなし観光局や農業者と連携し、行田在来の青大豆を活用した「みそ」を生産し販売を実施した。みその販売に関するパッケージなどのデザインを支援した。	着手中	
R7	行田おもてなし観光局と連携し、事業者に対するコンサルタントや商品開発の支援を行っていく。			

特記事項	
------	--

R7年度までの 総括		評価	
---------------	--	----	--

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像
4-6	産業振興・交流に関する方針	2	地域資源の活用によるにぎわいが 生まれるまちをつくる	1	地域資源の発掘と活用
関連する基本目標		市民と来訪者の交流がにぎわいを生み、快適に過ごせるまち			
施策の詳細内容			■観光産業の充実に向けて、体験型農業や新たな特産品・加工品の開発などの6次産業化に取り組む。 ■歴史・文化資源のPR強化を図るため、埼玉古墳群の世界遺産登録活動を推進する。		

★R7年度までの 取組目標	特別史跡に昇格した埼玉古墳群のPRを埼玉県と連携して進める。文化財を巡るツアーを毎年開催し、市内の文化財のPRを図る。
------------------	---

年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産の構成文化財のPR動画を作成・公開する。 足袋蔵等を徒歩で巡るツアーを4回開催する。 埼玉県に協力して埼玉古墳群、八幡山古墳等を巡るバス・ツアーや埼玉古墳群や足袋蔵等を巡る宝探しゲームを開催する。 埼玉古墳群に関するシンポジウムを埼玉県と共催で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産の構成文化財のPR動画を作成・公開した。 足袋蔵等を徒歩で巡るツアーを4回開催した。 埼玉県に協力して埼玉古墳群、八幡山古墳等を巡るバス・ツアーや埼玉古墳群や足袋蔵等を巡る宝探しゲームを開催した。 埼玉古墳群に関するシンポジウムを埼玉県と共催で実施した。 	着手中	
R4	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県と連携して埼玉古墳群のPR活動を推進する。 市内の文化財等を巡るツアーを開催する。 埼玉古墳群の白山地区の古墳の文化財指定を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 足袋蔵等を巡るツアーを5回実施した。 埼玉古墳群に関するシンポジウムを埼玉県と共催で実施した。 白山地区自治会との協議は行ったものの、文化財指定に向けた具体的な検討には至っていない。 	着手中	
R5	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県と連携して埼玉古墳群のPR活動を推進する。 市内の文化財等を巡るツアーを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県が行った埼玉古墳群の写真とエピソードを展示する写真展の写真募集に協力した。 日本遺産の構成文化財である足袋蔵の内部を公開する動画、構成文化財30箇所の日本遺産カードを作成し、日本遺産周知のためのツールを拡充した。 日本遺産を巡るモニターツアーを2回開催した。 	着手中	
R6	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県と連携して埼玉古墳群のPR活動を推進する。 市内の文化財等を巡るツアーを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県立さきたま史跡の博物館と共催して日本遺産を紹介する企画展を開催した。 「古墳フェスティバル」にて日本遺産を紹介する展示・ワークショップブースを出展した。 ワークショップを伴うツアーを1回、「日本 	着手中	
R7	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県と連携して埼玉古墳群のPR活動を推進する。 市内の文化財等を巡るツアーを開催する。 			

特記事項	
------	--

R7年度までの 総括		評価	
---------------	--	----	--

方針 2

地域資源の活用によるにぎわいが生まれる
まちをつくる

施策 2

交流拠点の整備

担当課	商工観光課・企業誘致課
-----	-------------

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像
4-6	産業振興・交流に関する方針	2	地域資源の活用によるにぎわいが 生まれるまちをつくる	2	交流拠点の整備
関連する基本目標	市民と来訪者の交流がにぎわいを生み、快適に過ごせるまち		P107—掲載		
施策の詳細内容		<p>■ 行田市総合公園周辺に、観光情報の発信機能や、地域物産販売機能などを備えた交流拠点の整備に取り組む。</p>			

★R7年度までの 取組目標	・『行田市産業交流拠点整備基本計画』に基づいた関係機関等との調整を行う。
------------------	--------------------------------------

年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3	・平成28年度策定「産業交流拠点整備基本計画」に基づき、事業者及び関係機関等との調整を行う。	「産業交流拠点整備基本計画」に基づき、県加須農林振興センターへ農地の取扱いについて調整を行った。	着手中	
R4	・平成28年度策定「産業交流拠点整備基本計画」に基づき、事業者及び関係機関等との調整を行う。	産業交流拠点整備について近隣市の状況を調査研究した。	着手中	
R5	・平成28年度策定「産業交流拠点整備基本計画」に基づき、事業者及び関係機関等との調整を行う。	産業交流拠点整備について近隣市の状況を調査研究した。	着手中	
R6	・平成28年度策定「産業交流拠点整備基本計画」に基づき、事業者及び関係機関等との調整を行う。	産業交流拠点整備について近隣市の状況を調査研究した。	着手中	
R7	・平成28年度策定「産業交流拠点整備基本計画」に基づき、事業者及び関係機関等との調整を行う。			

特記事項	
------	--

R7年度までの 総括		評価	
---------------	--	----	--

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像	
4-6	産業振興・交流に関する方針	2	地域資源の活用によるにぎわいが 生まれるまちをつくる	2	交流拠点の整備	
関連する基本目標		市民と来訪者の交流がにぎわいを生み、快適に過ごせるまち			P107—掲載	管理番号 No.50
施策の詳細内容		<p>■まちなかの物産店、飲食店、街角ギャラリーなど、気軽に立ち寄り、滞在できる環境を整備するため、NPOなどの市民団体と連携し、空き店舗の活用を促進する。</p>				

★R7年度までの 取組目標	・行田商工会議所と連携を図りながら、空き店舗を賃借して起業する者を対象に、出店にあたっての改修費用の一部ならびに運営費用の一部を助成し、起業家の育成や空き店舗の活用を推進する。
------------------	--

年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3	・市ホームページに掲載やリーフレットの配布、商工会議所等と連携し、制度の周知徹底をし、起業家の育成と空き店舗の解消を図る。	市ホームページ掲載やリーフレットの配布、商工会議所と連携し、起業家支援事業助成金制度の周知を図ったところ、新規の起業が5件あった。	着手中	
R4	・市ホームページに掲載やリーフレットの配布、商工会議所等と連携し、制度の周知徹底をし、起業家の育成と空き店舗の解消を図る。	市ホームページ掲載やリーフレットの配布、商工会議所と連携し、起業家支援事業助成金制度の周知を図ったところ、新規の起業が5件あった。	着手中	
R5	・市ホームページに掲載やリーフレットの配布、商工会議所等と連携し、制度の周知徹底をし、起業家の育成と空き店舗の解消を図る。	市ホームページ掲載やリーフレットの配布、商工会議所と連携し、起業家支援事業助成金制度の周知を図ったところ、新規の起業が5件あった。	着手中	
R6	・市ホームページに掲載やリーフレットの配布、商工会議所等と連携し、制度の周知徹底をし、起業家の育成と空き店舗の解消を図る。	市ホームページ掲載やリーフレットの配布、商工会議所と連携し、起業家支援事業助成金制度の周知を図ったところ、新規の起業が3件あった。	着手中	
R7	・市ホームページに掲載やリーフレットの配布、商工会議所等と連携し、制度の周知徹底をし、起業家の育成と空き店舗の解消を図る。			

特記事項	
------	--

R7年度までの 総括		評価	
---------------	--	----	--

方針 3

訪れる人が気持ちよく過ごせるまちをつくる

施策 1

アクセスの強化

担当課	都市計画課・道路治水課 交通政策課
-----	----------------------

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像
4-6	産業振興・交流に関する方針	3	訪れる人が気持ちよく過ごせるま ちをつくる	1	アクセスの強化
関連する基本目標	市民と来訪者の交流がにぎわいを生み、快適に過ごせるまち				
施策の詳細内容		<p>■ 鉄道駅から地域資源へのアクセス強化を図るため、市内循環バスなどの地域公共交通の充実化に取り組む。</p> <p>■ 自動車利用者の利便性向上を図るため、幹線道路の整備を促進する。</p>			

★R7年度までの 取組目標		都市計画道路常盤通佐間線の早期完成		
年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3	常盤通佐間線の早期完成に向け、埼玉県と協議を行う。	常盤通佐間線の早期完成に向け埼玉県と協議し、埼玉県にて、地質調査、橋りょう予備設計等を実施し、R4年1月27日に事業認可を取得した。	着手中	
R4	常盤通佐間線の早期完成に向け、埼玉県と協議を行う。	常盤通佐間線の早期完成に向け埼玉県と協議し、埼玉県にて橋梁詳細設計や用地買収などを実施した。	着手中	
R5	常盤通佐間線の早期完成に向け、埼玉県と協議を行う。	・常盤通佐間線の早期完成に向け埼玉県と協議し、埼玉県にて付替水路等設計や用地測量などを実施した。	着手中	
R6	常盤通佐間線の早期完成に向け、埼玉県と協議を行う。	・常盤通佐間線の早期完成に向け埼玉県と協議し、埼玉県にて地元説明会、用地測量及び水路詳細設計などを実施した。	着手中	
R7	常盤通佐間線の早期完成に向け、埼玉県と協議を行う。			

特記事項	
------	--

R7年度までの 総括		評 価	
---------------	--	--------	--

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像
4-6	産業振興・交流に関する方針	3	訪れる人が気持ちよく過ごせるまちをつくる	1	アクセスの強化
関連する基本目標		市民と来訪者の交流がにぎわいを生み、快適に過ごせるまち			
施策の詳細内容		<p>■鉄道駅から地域資源へのアクセス強化を図るため、市内循環バスなどの地域公共交通の充実化に取り組む。</p> <p>■自動車利用者の利便性向上を図るため、幹線道路の整備を促進する。</p>			

★R7年度までの 取組目標	地域公共交通計画を策定し、公共交通体系の見直しを行う。
------------------	-----------------------------

年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3	地域公共交通計画策定に係る国庫補助金の申請を行う。	地域公共交通計画策定に係る国庫補助金の申請を行った。	着手中	循環バス乗車時間短縮の見直しを図り、R4.4.1より一部のコースで運行開始した。
R4	乗降調査や利用者アンケートなどを実施し、利用実態や利用者ニーズを把握する。	市民2,000人、デマンドタクシー利用者800人を対象にアンケート調査等を実施し、調査結果から地域公共交通に対する課題を整理した。	着手中	
R5	地域公共交通計画を策定する。	地域公共交通についての基本方針、取組施策、目標値の設置等を行い、市民説明会やパブリックコメントを実施し「行田市地域公共交通計画」を策定した。	着手中	平日と土日祝日の利用状況を鑑みた結果、R6.1.4より一部のコースに土日祝日ダイヤを導入した。
R6	地域公共交通計画に基づき、市の公共交通ネットワークに合う新たな地域公共交通手段を検討する。	利用者が少ない市内循環バス路線(東循環コース、北東コース、北西コース)の運行を終了し、デマンドタクシーを乗合型A オンデマンド交通に移行する地域公共交通の再編を実施した。	着手中	
R7	新たな地域公共交通手段の利用実態等を把握する。			

特記事項	
------	--

R7年度までの 総括		評価	
---------------	--	----	--

方針 3

訪れる人が気持ちよく過ごせるまちをつくる

施策 2

まちをめぐる環境の整備

担当課	商工観光課
-----	-------

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像		
4-6	産業振興・交流に関する方針	3	訪れる人が気持ちよく過ごせるま ちをつくる		2	まちをめぐる環境の整備	
関連する基本目標		市民と来訪者の交流がにぎわいを生み、快適に過ごせるまち		P108—掲載		管理番号 No.52	
施策の詳細内容			■観光レンタサイクルの更なる充実を図るとともに、多様な地域資源をめぐるまちあるきルートやサイ クリングコースなど、歩行者や自転車のための安全で快適な空間整備を推進する。				

★R7年度までの 取組目標	観光レンタサイクルでめぐるモデルコースを発信していくとともに、日本遺産やロケ地など をめぐるまちあるきに関する情報も発信していく。
------------------	--

年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3	観光レンタサイクルを活用した、観光拠 点をめぐる情報発信の強化	観光客からのニーズを受け、行田市全 体のガイドマップを作成し、レンタサ イクル利用者の環境整備を図った。	着手中	
R4	観光レンタサイクルを活用した、観光拠 点をめぐる情報発信の強化	観光客からのニーズを受け、行田市全 体のガイドマップを作成し、レンタサ イクル利用者の環境整備を図った。	着手中	
R5	観光レンタサイクルを活用した、観光拠 点をめぐる情報発信の強化	さきたま古墳公園エリアにおいて、4月に「観光物産 館さきたまテラス」を（一社）行田おもてなし観光 局と共同整備したことで、物産販売や飲食提供のみ ならず、観光レンタサイクルをはじめとした情報発 信機能を充実させた。	着手中	
R6	観光レンタサイクルを活用した、観光拠 点をめぐる情報発信の強化	（一社）行田おもてなし観光局と連携 し、SNSなどを活用して観光レンタサ イクルの情報及び市内観光案内の情報 発信を強化した。	着手中	
R7	観光レンタサイクルを活用した、観光拠 点をめぐる情報発信の強化			

特記 事項	
----------	--

R7年度ま での 総括		評 価	
-------------------	--	--------	--

方針 3

訪れる人が気持ちよく過ごせるまちをつくる

施策 3

観光案内機能の強化

担当課	商工観光課・文化財保護課
-----	--------------

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像
4-6	産業振興・交流に関する方針	3	訪れる人が気持ちよく過ごせるまちをつくる	3	観光案内機能の強化
関連する基本目標	市民と来訪者の交流がにぎわいを生み、快適に過ごせるまち		P108—掲載		
施策の詳細内容		<p>■観光案内機能の強化を図るため、観光案内所の充実化に取り組む。</p> <p>■観光サインや観光マップなどによる情報提供を推進するとともに、分かりやすい道路案内板などの整備に取り組む。</p>			

★R7年度までの 取組目標	観光案内所を利用する方々の利便性向上を図る。
------------------	------------------------

年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3	行田おもてなし観光局と連携し、観光案内所の更なる利便性向上に向けた取り組みを実施する。	観光案内所の管理運営を行田おもてなし観光局へ委託した。R3年度は、「行田の餃子」をはじめとした行田土産の販売を開始し、機能の充実を図った。古代蓮の開花時期には、観光案内所を早朝から開館する等の利便性の向上を図った。	着手中	
R4	行田おもてなし観光局と連携し、観光案内所の更なる利便性向上に向けた取り組みを実施する。	観光案内所の管理運営を行田おもてなし観光局へ委託した。R4年度は、営業時間外においても行田土産を購入できるように「行田の餃子」の冷凍自販機をJR行田駅前観光案内所に設置した。また、同観光案内所に対する利用者ニーズを受け、コインロッカーも新たに設置した。 さらに、古代蓮の開花時期には、観光案内所を早朝から開館する等の利便性の向上を図った。	着手中	
R5	行田おもてなし観光局と連携し、観光案内所の更なる利便性向上に向けた取り組みを実施する。	(一社)行田おもてなし観光局と共同でさきたま古墳公園エリアに「観光物産館さきたまテラス」を新たに整備した。物産販売や飲食提供のみならず、観光案内機能をもたせ、観光客の利便性向上に繋げた。 また、古代蓮の里に設置の観光案内板を多言語版にリニューアルし、外国人観光客の受け入れ促進を図った。	着手中	
R6	行田おもてなし観光局と連携し、観光案内所の更なる利便性向上に向けた取り組みを実施する。	(一社)行田おもてなし観光局と共同で忍城バスターミナル観光案内所に体験型コンテンツとして甲冑の着付ができる「忍城SAMURAI体験」や「忍城NINJA体験」を造成し、観光案内所としての機能にプラスして、戦国体験館として観光施設の機能を付与した。またJR行田駅前観光案内所において、コインロッカーの運営を開始し、観光客の利便性の向上に努めました。	着手中	
R7	行田おもてなし観光局と連携し、観光案内所の更なる利便性向上に向けた取り組みを実施する。			

特記事項	
------	--

R7年度までの 総括		評価	
---------------	--	----	--

第4章全体構想(分野別構想)		方針		施策	令和14年度(MP最終年度)までに 目指すべき将来像		
4-6	産業振興・交流に関する方針	3	訪れる人が気持ちよく過ごせるま ちをつくる		3	観光案内機能の強化	
関連する基本目標		市民と来訪者の交流がにぎわいを生み、快適に過ごせるまち		P108—掲載		管理番号 No.53	
施策の詳細内容			■観光案内機能の強化を図るため、観光案内所の充実化に取り組む。 ■観光サインや観光マップなどによる情報提供を推進するとともに、分かりやすい道路案内板など の整備に取り組む。				

★R7年度までの 取組目標	文化財案内板・説明板の台帳を作成するとともに、日本遺産構成文化財の説明板1基を設置する。また、老朽化した説明板4基の立て替え、自動車用案内板4基・説明板1基の改修を実施する。文化財マップの作成、HPでの文化財情報発信の強化も行う。
------------------	---

年度	取組予定	取組実績	★に対する 進行 状況	補足事項
R3	・文化財案内板・説明板の台帳を作成する。 ・自動車用案内板1基の改修を実施する。	・文化財案内板・説明板の台帳を作成した。 ・自動車用案内板4基、小拠点案内板1基の改修を実施した。	着手中	
R4	・日本遺産構成文化財の説明板1基を設置する。 ・文化財説明板1基の立て替えを実施する。 ・自動車用案内板2基の改修を実施する。文化財マップを作成する。	・R3に日本遺産構成文化財に追加認定された小林家住宅に説明板を作成した。 ・広告入りの文化財マップ1万部を作成した。	着手中	
R5	・文化財説明板1基の立て替えを実施する。 ・自動車用案内板1基、文化財説明板1基の改修を実施する。 ・ホームページの文化財情報発信を強化する。	・県指定文化財の説明板5基の立て替えを実施した。また、自動車案内板1基、文化財大型説明板1基の修繕を行った。 ・英語版日本遺産パンフレット及び日本遺産ポータルサイトの中国語ページを作成し、外国人観光客への情報発信の強化を図った。 ・広告入り文化財マップの更新を行った。	着手中	
R6	文化財説明板1基の立て替えを実施する。	・日本遺産ガイダンスセンターの自動車案内板の修繕・日本遺産中拠点案内板2件(大澤家住宅旧文庫蔵・足袋蔵 ギャラリー門)の修繕を行った。	着手中	
R7	文化財説明板1基の立て替えを実施する。			

特記事項	
------	--

R7年度までの 総括		評価	
---------------	--	----	--